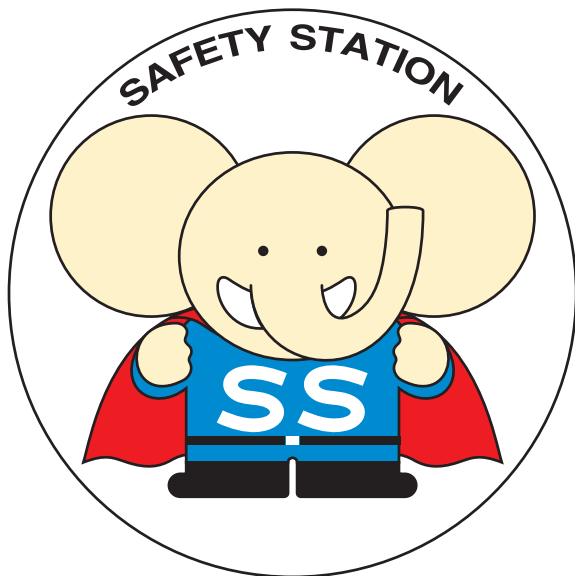


2026年5月発行

2025年度版  
コンビニエンスストア  
セーフティステーション活動  
アンケートリポート

アンケート対象期間：2025年1月～12月



エスゾウくん

安全・安心なまちづくりに向けた  
セーフティステーション活動の  
アンケート結果です

エスゾウくんは  
セーフティステーション活動の  
イメージキャラクターです



一般社団法人  
日本フランチャイズチェーン協会


コンビニエンスストア  
セーフティステーション活動推進委員会

# ～セーフティステーション活動とは～

一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会（JFA）に加盟するコンビニエンスストアは「安全・安心なまちづくりに協力」と「青少年環境の健全化への取組み」を2つの柱とする「セーフティステーション（SS）活動」について自主的に取り組んでおり、2005年に全国展開を開始して以来、加盟店さまのご協力のもと2025年10月に20周年を迎えることができました。

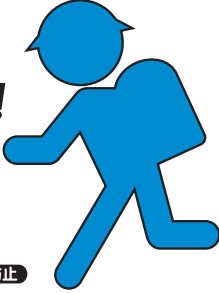
## セーフティステーション活動実施店


地域社会の安全・安心なまちづくりと青少年環境の健全化に努めます




エスゾウくん

こまったときは…  
**エスゾウくん**のお店へ!



**110** **119** 

防犯・防災 子ども・女性・高齢者保護 20歳未満者飲酒喫煙防止

 一般社団法人  
日本フランチャイズチェーン協会

後援 / 経済産業省・警察庁・消費者庁・こども家庭庁・消防庁・国税庁・厚生労働省

このポスターを店頭に貼付して  
皆さまに活動の実施をお知らせしています。

## 【アンケート概要】

一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会（以下、J F Aと表記）に加盟するコンビニエンスストアでは「安全・安心なまちづくりに協力」と「青少年環境の健全化への取組み」を2つの柱とする「セーフティステーション活動（以下、S S活動と表記）」について自主的に取り組んでいます。S S活動の更なる定着・深耕を図るため、全国の加盟店（オーナーさま・店長さま）に実施したアンケート調査の結果をご報告いたします。

### 1. S S活動参加企業：コンビニエンスストア本部（五十音順）

- |                   |                         |
|-------------------|-------------------------|
| ①(株)セイコーマート       | ⑤ミニストップ(株)              |
| ②(株)セブン-イレブン・ジャパン | ⑥山崎製パン(株)デイリーヤマザキ事業統括本部 |
| ③(株)ファミリーマート      | ⑦(株)ローソン                |
| ④(株)ポプラ           |                         |

※各企業の都道府県別店舗数及びブランドチェーン名は巻末に記載しています。

2. 回答店舗数：56,897店（アンケート配付：56,961店 回答率：99.9%）

3. アンケート対象期間：2025年1月1日～12月31日（実施期間は2026年1～2月）

### 4. アンケート結果報告の内容（質問内容）

#### 【安全・安心なまちづくりに協力】

- (1)防犯に関する訓練や講習会・会合などへの参加状況と内容
- (2)制服警察官による店舗立ち寄りに対する加盟店の受け止め方
- (3)店舗の担当警察官認知状況と店舗が受けた指導内容
- (4)警察への通報状況と内容
- (5)女性・子どもの駆け込み対応と高齢者保護の状況
- (6)特殊詐欺未然防止対応の状況と警察による巡回指導の状況

#### 【青少年環境の健全化への取組み】

- (1)青少年健全育成条例の理解状況
- (2)青少年に対する帰宅促しとトラブル発生状況
- (3)酒類・たばこ販売時の年齢確認実施におけるトラブル発生状況

#### 【地域との交流】

- (1)地域との交流を深めるために実施している活動や協力など

#### 【その他】（カスタマーハラスメント関連）

- (1)カスタマーハラスメントの有無や内容

# セーフティステーション活動 「加盟店オーナー・店長さん向けアンケート」

※アンケート対象期間は、  
25年1月1日～12月31日です。  
この1年間での出来事をお答えください。

## 記入方法

- 記入は必ずHBの黒鉛筆またはシャープペンシルで  
○内を正確に塗りつぶしてください。
- 訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。

### 1. 店番を右に寄せて記入してマークを入れてください

店番(1桁からご記入ください)					
6桁	5桁	4桁	3桁	2桁	1桁
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

<記入・マーク例>

#### 記入例

良い例 ●  
悪い例 ○ ◯ ◯

例: 17の場合

店番(1桁からご記入ください)					
6桁	5桁	4桁	3桁	2桁	1桁
0	0	0	0	1	7
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

### 2. 店名を記入してください

店名

### 3. 店舗の電話番号を市外局番から記入してください

電話番号(※携帯電話は不可です)

セーフティステーション(S S)活動は25年10月で20周年を迎えることができました。日頃からS S活動にご協力を賜りましてありがとうございます。S S活動20周年に際して、これまでの活動をまとめた「20周年記念動画」を作成しましたので、ご確認ください。



## 1. 安全・安心なまちづくりに協力

(1) 防犯に関する訓練や講習会・会合などに参加したことはありますか?	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> 参加する機会がなかった
(2) (1)で「はい」と回答した場合、どのような訓練や講習会・会合の内容でしたか?【複数回答可】	<input type="checkbox"/> 強盗模擬訓練 <input type="checkbox"/> 防犯会議や定期総会など <input type="checkbox"/> 防犯カラーボールの投げき訓練 <input type="checkbox"/> 特殊詐欺(※)の未然防止訓練 <input type="checkbox"/> 酒類・たばこ販売時の年齢確認訓練・講習 <input type="checkbox"/> 女性の駆け込み対応訓練・講習 <input type="checkbox"/> 子どもの駆け込み対応訓練・講習 <input type="checkbox"/> 高齢者の保護対応訓練・講習 <input type="checkbox"/> 窃盗(万引き)防止の訓練・講習 <input type="checkbox"/> その他 (※)特殊詐欺・・・振り込め詐欺や架空請求詐欺などの総称
(3) 制服警察官が、買物などで店舗に立ち寄ることについて、どのように思いますか?	<input type="radio"/> 安心感があり定期的に立ち寄って欲しい <input type="radio"/> 制服姿に違和感はあるが立ち寄って欲しい <input type="radio"/> 安心感はあるが立ち寄ったことがない <input type="checkbox"/> その他
(4) 店舗の担当警察官として定期的に訪問してくれる警察官がいますか?	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> 担当警察官はいないが定期訪問してくれている
(5) (4)で「 <input type="radio"/> はい、 <input type="radio"/> いいえ」と回答した場合、訪問頻度はどれくらいですか?	<input type="radio"/> ほぼ毎日 <input type="radio"/> 週に2回くらい <input type="radio"/> 週に1回くらい <input type="radio"/> 隔週に1回くらい <input type="radio"/> 月に1回くらい <input type="radio"/> 2ヶ月に1回以下
(6) 担当警察官などからはどんな防犯指導などを受けましたか? (※)担当警察官の有無に関わらずお答えください【複数回答可】	<input type="checkbox"/> 地域犯罪情報の共有 <input type="checkbox"/> 強盗対策 <input type="checkbox"/> 窃盗(万引き)対策 <input type="checkbox"/> クレーム客の対策 <input type="checkbox"/> たむろ対策 <input type="checkbox"/> 放置車両・自転車対策 <input type="checkbox"/> 20歳未満者への酒類・たばこ販売防止対策 <input type="checkbox"/> 特殊詐欺未然防止対策 <input type="checkbox"/> 女性の駆け込み対応策 <input type="checkbox"/> 子どもの駆け込み対応策 <input type="checkbox"/> 高齢者の保護対応策 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 特になし
(7) 警察に通報したことがありますか?	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> 通報する機会がなかった
(8) (7)で「はい」と回答した場合、その内容は何ですか?【複数回答可】	<input type="checkbox"/> 接客上のトラブル <input type="checkbox"/> 酒類・たばこ販売時などの年齢確認によるトラブル <input type="checkbox"/> 窃盗(万引き) <input type="checkbox"/> 青少年のたむろ <input type="checkbox"/> 放置車両 <input type="checkbox"/> 放置自転車 <input type="checkbox"/> 恐喝・因縁 <input type="checkbox"/> 女性の駆け込み <input type="checkbox"/> 子どもの駆け込み(児童虐待含む) <input type="checkbox"/> 高齢者の保護 <input type="checkbox"/> 事故 <input type="checkbox"/> 強盗 <input type="checkbox"/> 人身に対する暴行 <input type="checkbox"/> レジやカウンターなどの器物損壊 <input type="checkbox"/> 暴走族 <input type="checkbox"/> 偽札など店舗を狙った詐欺事件 <input type="checkbox"/> 特殊詐欺の未然防止 <input type="checkbox"/> その他
(9) 女性・子ども(中学生ぐらいまで)の駆け込みに対応したことや高齢者を保護したことがありますか? また、「はい」と回答した場合、対応回数は何回ですか?	
女性の駆け込み対応	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ 対応回数 <input type="radio"/> 1回 <input type="radio"/> 2回 <input type="radio"/> 3回 <input type="radio"/> 4回 <input type="radio"/> 5回以上
子ども(中学生ぐらいまで)の駆け込み対応	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ 対応回数 <input type="radio"/> 1回 <input type="radio"/> 2回 <input type="radio"/> 3回 <input type="radio"/> 4回 <input type="radio"/> 5回以上
高齢者の保護	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ 対応回数 <input type="radio"/> 1回 <input type="radio"/> 2回 <input type="radio"/> 3回 <input type="radio"/> 4回 <input type="radio"/> 5回以上
(10) (9)で「はい」と回答した場合、最も多く対応した時間帯は何時頃ですか?	
女性の駆け込み対応	<input type="radio"/> 6時～11時台 <input type="radio"/> 12時～17時台 <input type="radio"/> 18時～22時台 <input type="radio"/> 23時～5時台
子ども(中学生ぐらいまで)の駆け込み対応	<input type="radio"/> 6時～11時台 <input type="radio"/> 12時～17時台 <input type="radio"/> 18時～22時台 <input type="radio"/> 23時～5時台
高齢者の保護	<input type="radio"/> 6時～11時台 <input type="radio"/> 12時～17時台 <input type="radio"/> 18時～22時台 <input type="radio"/> 23時～5時台
(11) (9)で「はい」と回答した場合、駆け込み、保護の理由は何ですか?【複数回答可】	
女性の駆け込み対応	<input type="checkbox"/> ストーカー(つきまとい) <input type="checkbox"/> 知らない人から声をかけられた <input type="checkbox"/> 痴漢 <input type="checkbox"/> 暴力(DV含む) <input type="checkbox"/> 急病・ケガ <input type="checkbox"/> 事故 <input type="checkbox"/> その他
子ども(中学生ぐらいまで)の駆け込み対応	<input type="checkbox"/> 道に迷った <input type="checkbox"/> 家族や友達とはぐれた <input type="checkbox"/> 知らない人から声をかけられた <input type="checkbox"/> 痴漢(いたづら) <input type="checkbox"/> 急病・ケガ <input type="checkbox"/> 家出 <input type="checkbox"/> 事故 <input type="checkbox"/> 暴力(家庭内暴力含む) <input type="checkbox"/> その他
高齢者の保護	<input type="checkbox"/> 徘徊 <input type="checkbox"/> 徘徊以外の認知症が疑われる行動 <input type="checkbox"/> 急病・ケガ <input type="checkbox"/> 事故 <input type="checkbox"/> 暴力(家庭内暴力含む) <input type="checkbox"/> 道に迷った <input type="checkbox"/> 家族や知人とはぐれた <input type="checkbox"/> その他

(12) (9) で「はい」と回答した場合、駆け込んで来た女性・子ども、保護した高齢者への対応を教えてください【複数回答可】				
女性の駆け込み対応	<input type="checkbox"/> 110番通報	<input type="checkbox"/> 119番通報	<input type="checkbox"/> 家族・知人などに連絡	<input type="checkbox"/> 売場・バックルームで保護
子ども(中学生ぐらいまで)の駆け込み対応	<input type="checkbox"/> 110番通報	<input type="checkbox"/> 119番通報	<input type="checkbox"/> 児童相談所などの施設に連絡	<input type="checkbox"/> 地域包括支援センターなどに連絡
高齢者の保護	<input type="checkbox"/> 110番通報	<input type="checkbox"/> 119番通報	<input type="checkbox"/> 家族・知人などに連絡	<input type="checkbox"/> 売場・バックルームで保護
(13) 振り込み詐欺などの特殊詐欺を未然に防止したことがありますか？(電子マネー【プリペイドカードなど】・ATM・出し子の通報など) また「はい」と回答した場合、防止した回数は何回ですか？				
特殊詐欺防止	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> 機会がなかった	防止回数
				<input type="checkbox"/> 1回 <input type="checkbox"/> 2回 <input type="checkbox"/> 3回 <input type="checkbox"/> 4回 <input type="checkbox"/> 5回以上
(14) (13) で「はい」と回答した場合、なぜ被害を防止することができたのですか？【複数回答可】				
<input type="checkbox"/> 高額な電子マネー(プリペイドカードなど)の購入を不審に感じた	<input type="checkbox"/> 「シルバー・携帯・ATM」のフレーズ(※)に該当した	<input type="checkbox"/> 「高額・端末・プリペイドカード」のフレーズ(※)に該当した	<input type="checkbox"/> 電話をしながらのATM利用を不審に感じた	<input type="checkbox"/> 「現金を宅配便などで送りたい」旨を言われた
<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 高額なインターネット決済を不審に感じた	※フレーズ：SS活動通信などで注意喚起していた項目(キーワード)		
(15) 振り込み詐欺などの特殊詐欺被害防止について警察から巡回指導などを受けたことがありますか？				
	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ		
(16) (15) で「はい」と回答した場合、指導の内容は何ですか？【複数回答可】				
<input type="checkbox"/> お客さま向け声かけシートの活用	<input type="checkbox"/> プリペイドカード購入者用封筒の活用	<input type="checkbox"/> 従業員向け防止マニュアルの活用	<input type="checkbox"/> ポスター・ステッカーなどの掲示	<input type="checkbox"/> 防止時の声かけ
<input type="checkbox"/> 警察などから提供された声かけシートなどを活用している	<input type="checkbox"/> 啓発用動画参照	<input type="checkbox"/> その他		
(17) 店舗で特殊詐欺を未然防止するために何か取組みを行なっていますか？【複数回答可】				
<input type="checkbox"/> 高額な電子マネー(プリペイドカードなど)の購入時には声をかけている	<input type="checkbox"/> 電話をしながらのATM利用時には声をかけている	<input type="checkbox"/> SS活動通信を活用している	<input type="checkbox"/> 警察などから提供された声かけシートなどを活用している	<input type="checkbox"/> 日頃から従業員に注意喚起している
<input type="checkbox"/> その他の取組みをしている	<input type="checkbox"/> 特に取組みをしていない			

## 2. 青少年環境の健全化への取組み

(18) 各自治体で制定されている青少年健全育成条例などの内容を理解していますか？				
	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ		
(19) 青少年健全育成条例などの有無にかかわらず、深夜時間帯は青少年に対して帰宅を促していますか？				
	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> 実施する機会がなかった	
(20) (19) で「はい」と回答した場合、トラブルになったことがありますか？ また、「はい」と回答した場合、トラブル発生回数は概ね何回ですか？				
トラブルになったことがある	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	発生回数	<input type="checkbox"/> 1回 <input type="checkbox"/> 2回 <input type="checkbox"/> 3回 <input type="checkbox"/> 4回 <input type="checkbox"/> 5回以上
(21) (20) で「はい」と回答した場合、お客さまはどのような態度を取りましたか？【複数回答可】				
<input type="checkbox"/> 素直に応じず文句を言う	<input type="checkbox"/> 故意に大きな声で恫喝をする	<input type="checkbox"/> 人身に対する暴行	<input type="checkbox"/> レジやカウンターなどの器物損壊	<input type="checkbox"/> 店頭や駐車場を汚したままで帰宅
<input type="checkbox"/> その他				
(22) 酒類・たばこを販売する際に身分証明書の提示やタッチパネル押下の協力を求めてトラブルになったことがありますか？ また、「はい」と回答した場合、トラブル発生回数は概ね何回ですか？				
	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	発生回数	<input type="checkbox"/> 5回以下 <input type="checkbox"/> 6回～10回 <input type="checkbox"/> 11回～30回 <input type="checkbox"/> 31回～50回 <input type="checkbox"/> 51回以上
(23) (22) で「はい」と回答した場合、トラブルになったお客さまの年齢は何歳くらいですか？【複数回答可】				
	<input type="checkbox"/> 20歳未満	<input type="checkbox"/> 20～30歳	<input type="checkbox"/> 31～49歳	<input type="checkbox"/> 50～69歳 <input type="checkbox"/> 70歳以上
(24) (22) で「はい」と回答した場合、お客さまはどのような態度を取りましたか？【複数回答可】				
<input type="checkbox"/> 素直に応じず文句を言う	<input type="checkbox"/> 故意に大きな声で恫喝をする	<input type="checkbox"/> 人身に対する暴行	<input type="checkbox"/> レジやカウンターなどの器物損壊	<input type="checkbox"/> その他
(25) 酒類・たばこを販売する際の年齢確認に関して要望はありますか？【複数回答可】				
<input type="checkbox"/> 現行の法制度(販売者の年齢確認義務)の周知活動	<input type="checkbox"/> 購入者が身分証明書を提示するなどの条例の制度化	<input type="checkbox"/> 店舗責任者向けの講習会など	<input type="checkbox"/> 学校・PTAなどで健康被害・飲酒・喫煙防止教育を徹底させる	

## 3. 地域との交流

(26) 地域との交流を深めるため、どのような活動・協力をしていますか？【複数回答可】				
<input type="checkbox"/> 認知症サポーター	<input type="checkbox"/> 地域包括支援センターとの協力	<input type="checkbox"/> 子ども会・敬老会などに参加	<input type="checkbox"/> 地域の見守りネットワークに参加	<input type="checkbox"/> PTA活動に参加
<input type="checkbox"/> 清掃活動	<input type="checkbox"/> 防犯(防災)活動	<input type="checkbox"/> フードドライブ(食品寄贈)など	<input type="checkbox"/> 交通指導員	<input type="checkbox"/> 補導員
<input type="checkbox"/> 町内会活動などに参加	<input type="checkbox"/> 商店街・商店会活動などに参加	<input type="checkbox"/> 地域の催事などに寄付	<input type="checkbox"/> 地域情報の周知協力	<input type="checkbox"/> その他

## 4. その他(カスタマーハラスメント関連)

(27) お客さまからカスタマーハラスメント(※)に該当すると感じた言動がありましたか？				
	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ		
(※)お客さまなどからの社会通念上不当な要求や過剰な言動により、従業員の就業環境が害される行為				
(28) (27) で「はい」と回答した場合、回数は何回でしたか？				
	<input type="checkbox"/> 1回～5回	<input type="checkbox"/> 6回～10回	<input type="checkbox"/> 11回～15回	<input type="checkbox"/> 16回～20回 <input type="checkbox"/> 21回以上
(29) (27) で「はい」と回答した場合、その言動はどのようなものでしたか？【複数回答可】				
<input type="checkbox"/> 暴言・罵声	<input type="checkbox"/> 長時間拘束	<input type="checkbox"/> 威嚇・脅迫	<input type="checkbox"/> 何度も同じ指摘・要求	<input type="checkbox"/> セクハラ的言動
<input type="checkbox"/> 金品の要求	<input type="checkbox"/> 撮影行為	<input type="checkbox"/> SNSなどへの誹謗中傷	<input type="checkbox"/> 暴力行為	<input type="checkbox"/> 器物損壊
<input type="checkbox"/> 土下座の強要	<input type="checkbox"/> その他			

ご協力ありがとうございました

## 【総 括】

私たちコンビニエンスストアは、日頃の営業活動の中で目配り・気配りを常に行うことで少しでも地域社会の安全・安心に貢献したいと考えております。これからも「まちの安全・安心の拠点」としてお客さまをはじめ、地域社会や行政機関などとの連携を強化してSS活動の深耕を図ってまいります。

### 【安全・安心なまちづくりに協力】

#### ① 防犯に関する訓練や講習会・会合などへの参加状況と内容

防犯訓練や講習会に参加した店舗は10,765店(19.0%⇒構成比を記載、以下注釈がない場合は同様、前回差+0.3%)で3年連続増加しました。JFAでは合同防犯訓練を推進しており、強盗模擬訓練に加えて特殊詐欺未然防止策の強化に取組みました。

#### ② 制服警察官による店舗立ち寄りに対する加盟店の受け止め方

制服警察官が買物などで店舗に立ち寄ることについて「安心感があり定期的に立ち寄ってほしい」など55,620店(98.6%、前回差+0.5%)から肯定的な意見があり、制服警察官の店舗への立ち寄りを積極的に望む声が多い結果となりました。

#### ③ 店舗の担当警察官認知状況と店舗が受けた指導内容

店舗に「担当警察官がいる」との回答が13,419店(23.8%)、また「担当警察官ではないが定期訪問がある」との回答が11,068店(19.7%)からありました。警察官の訪問頻度は「週に1回」以上が全体の42.7%を占めており、担当警察官から実際に受けた指導内容で最も多かった回答は「特殊詐欺の未然防止対策」(44.8%)でした。

#### ④ 警察への通報状況と内容

「通報した」と回答した店舗が34,282店(61.1%)で、通報した内容は「窃盗(万引き)」(53.8%)、「接客上のトラブル」(29.6%)、「放置車両」(23.4%)、「事故」(19.3%)、「青少年のたむろ」(18.1%)などとなっています。

#### ⑤ 女性・子どもの駆け込み対応と高齢者保護の状況

女性の駆け込みは3,627店で延べ4,780回以上対応しました。時間帯別では23時～5時台で1,702店(48.9%)と深夜時間帯が約半数を占めました。

子どもの駆け込みは2,628店で延べ3,643回以上対応しました。時間帯別では12時～22時台で延べ1,997店(80.4%)と下校及び帰宅後の時間帯が8割を占めました。

高齢者の保護は9,555店で延べ16,862回以上対応しました。時間帯別では12時～17時台で3,792店(43.7%)が対応しました。

#### ⑥ 特殊詐欺未然防止対応の状況と警察による巡回指導の状況

15,382店(28.0%、前回差▲2.9%)で20,302回以上「特殊詐欺を未然に防いだ」と回答がありました。防止できた理由は「高額な電子マネーの購入を不審に感じた」として声をかけたものが最も多く13,684店(90.0%、前回差+0.3%)でした。

また、「警察から依頼や巡回指導を受けた」との回答が35,247店(63.6%、前回差▲3.4%)あり、店舗では警察から提供された声かけシートや、プリペイドカード購入者用封筒などを活用し、特殊詐欺の未然防止に努めています。

## 【青少年環境の健全化への取組み】

### ① 青少年健全育成条例の理解状況

各自治体で制定されている青少年健全育成条例などを理解していると答えた店舗は38,231店(67.9%)でした。

### ② 青少年に対する帰宅促しとトラブル発生状況

深夜時間帯で青少年のたむろなどを発見した際に、帰宅促しを実施している店舗は20,630店(36.7%)で、その際にトラブルが発生したと回答した店舗は2,539店(12.5%)ありました。

### ③ 酒類・たばこ販売時の年齢確認実施におけるトラブル発生状況

身分証明書の提示やタッチパネル押下の協力を求めた際に購入者の理解が得られず延べ10,781店でトラブルが発生し、中には従業員への暴行や器物損壊に発展するケースもありました。(当事者の年齢：20歳未満43.8%、20歳以上56.2%)

## 【地域との交流】

### ① 地域との交流を深めるために実施している活動や協力など

延べ42,811店が「地域との交流を深めるために活動や協力をしている」と回答しました。その中で「地域の催事などに寄付」が7,712店と最も多く、次いで「清掃活動」が5,403店、「体験学習の実施」が4,690店となりました。

## 【その他】

### ① カスタマーハラスメントの有無や内容

「店舗がカスタマーハラスメントとを感じる場面があった」と回答した店舗数は29,621店(52.6%)でした。ハラスメントと感じた回数では「10回以下」と回答した店舗が23,593店でした。内容では「暴言・罵声」が25,705店と最も多く、次いで「何度も同じ指摘・要求」が11,852店、「威嚇・脅迫」が8,841店となりました。

また、「土下座の強要」と回答した店舗は686店ありました。

## 【店舗より寄せられた主な意見】

① 刑法犯認知件数やカスタマーハラスメントの増加など、昨今の社会情勢に鑑み、「安心して店舗営業したい」という思いから担当警察官制度の導入など、地元警察官の店舗巡回強化を望む声が高まっており、まちの要所にあるコンビニエンスストアの安全・安心な営業が地域社会の安全・安心なくらしにも繋がる施策の実現をお願いします。

② 酒類・たばこ販売時の年齢確認において、店舗やチェーン本部では購入者に身分証明書を提示していただけるように工夫しておりますが、現行の法制度（販売者にのみ年齢確認義務を負わせる）では限界があり、購入者が身分証明書などを提示しなければ購入できないよう、国及び自治体として制度化していただきたいとの声が多く寄せられています。

※2025年12月に「JFA年齢確認ガイドライン」を改訂し、年齢確認できる身分証明書を「顔写真付き」に統一しました。

③ 青少年の深夜時間帯での居座り行為や20歳未満者の飲酒・喫煙などを発見した際には店舗でも注意喚起を行いますが、トラブルになり110番通報した際には速やかな店舗への駆け付けを望む声が多くなっており、あわせて強盗対策や特殊詐欺被害防止に向けた防犯訓練の実施を希望する声も高まっています。

## 安全・安心なまちづくりに協力

### (1) 防犯に関する訓練や講習会・会合などへの参加状況と内容

#### ① 防犯に関する訓練や講習会・会合などに参加した店舗【n=56,650店】

項目	参加した	参加する機会がなかった
店舗数	10,765店	45,885店
構成比 (100%)	19.0%	81.0%

※アンケート結果は回答の正確性を高めるため、設問毎に有効回答（無回答を除く）を求めてn数（母数）を算出しています。（以下同様）

#### ② 訓練や講習会・会合などの内容

【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=10,690店】

項目	強盗模擬訓練	防犯カラーボールの投てき訓練	特殊詐欺の未然防止訓練	酒類・たばこ販売時の年齢確認訓練・講習	防犯会議や定期総会など
店舗数	5,231店	3,283店	2,810店	2,756店	2,506店
割合	48.9%	30.7%	26.3%	25.8%	23.4%

項目	窃盗（万引き）防止の訓練・講習	高齢者の保護対応訓練・講習	子どもの駆け込み対応訓練・講習	女性の駆け込み対応訓練・講習	その他
店舗数	735店	571店	409店	247店	406店
割合	6.9%	5.3%	3.8%	2.3%	3.8%

### (2) 制服警察官による店舗立ち寄りに対する加盟店の受け止め方

#### ① 制服警察官が買物などで店舗に立ち寄ることについての感想【n=56,402店】

項目	安心感があり定期的に立ち寄って欲しい	制服姿に違和感はあるが立ち寄って欲しい	安心感はあるが立ち寄ったことがない	その他
店舗数	48,193店	4,346店	3,081店	782店
構成比 (100%)	85.4%	7.7%	5.5%	1.4%

### (3) 店舗の担当警察官認知状況と店舗が受けた指導内容

#### ① 店舗の担当警察官として定期訪問してくれる警察官の有無【n=56,281店】

項目	担当警察官がいる	担当警察官がいない	担当警察官はいないが定期訪問がある
店舗数	13,419店	31,794店	11,068店
構成比 (100%)	23.8%	56.5%	19.7%

② 警察官の訪問頻度【n=23,805店】

項目	ほぼ毎日	週に2回 くらい	週に1回 くらい	隔週に1回 くらい	月に1回 くらい	2ヶ月に 1回以下
店舗数	2,342店	3,112店	4,718店	3,900店	6,120店	3,613店
構成比 (100%)	9.8%	13.1%	19.8%	16.4%	25.7%	15.2%

③ 警察官から受けた指導内容

【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=48,061店】

項目	特殊詐欺 未然防止対策	地域犯罪情報の 共有	20歳未満者への 酒類・たばこ 販売防止対策	窃盗（万引き） 対策	強盗対策
店舗数	21,543店	13,219店	6,566店	4,072店	3,663店
割合	44.8%	27.5%	13.7%	8.5%	7.6%

項目	たむろ対策	放置車両・ 自転車対策	高齢者の 保護対応策	クレーム客の 対策	子どもの 駆け込み対応策
店舗数	1,998店	1,860店	1,610店	1,319店	565店
割合	4.2%	3.9%	3.3%	2.7%	1.2%

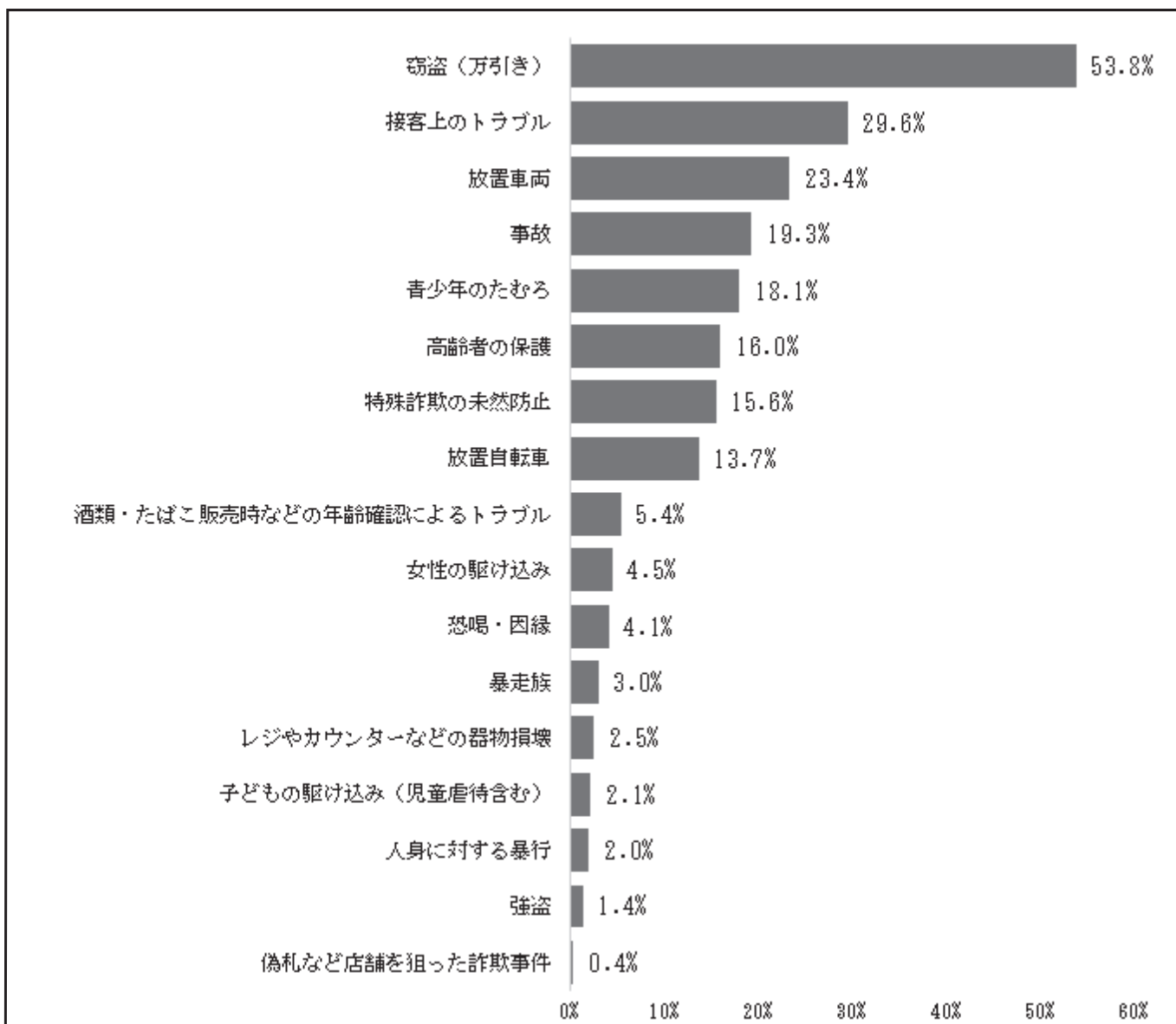
項目	女性の 駆け込み対応策	その他	特になし
店舗数	356店	1,223店	12,554店
割合	0.7%	2.5%	26.1%

#### (4) 警察への通報状況と内容

##### ① 警察への通報の状況【n=56,092店】

項目	通報した	通報しなかった	通報する機会がなかった
店舗数	34,282店	14,070店	7,740店
構成比 (100%)	61.1%	25.1%	13.8%

##### ② 通報した内容【複数回答 n=34,188店】



## (5) 女性・子どもの駆け込み対応と高齢者保護の状況

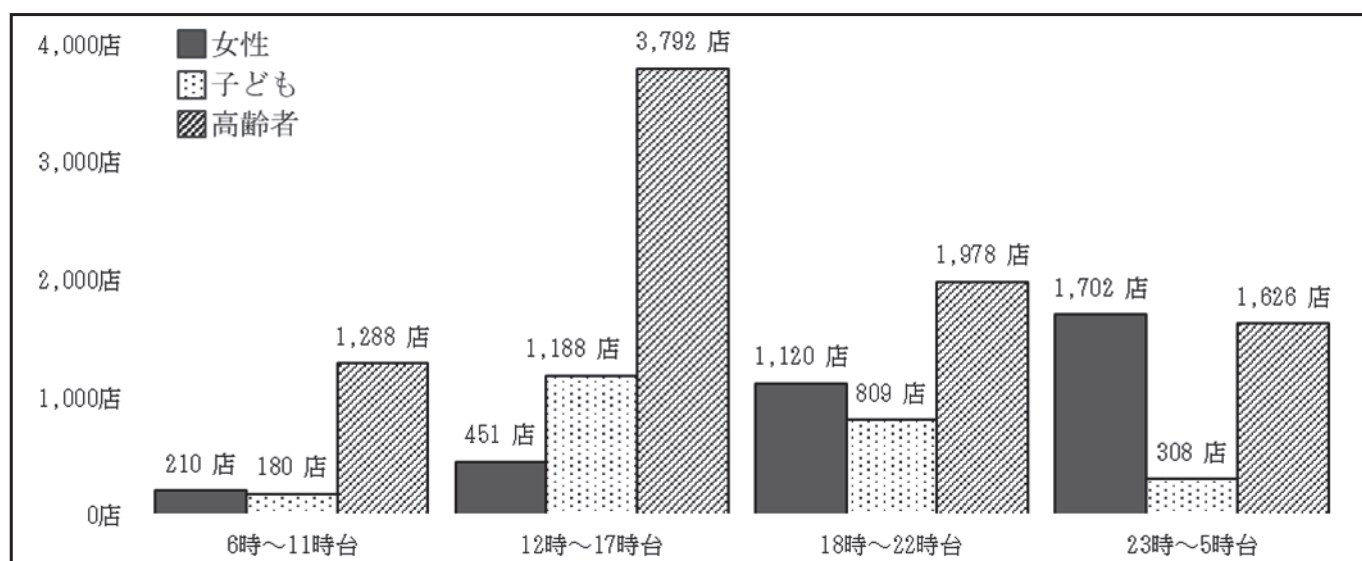
### ① 駆け込み対応・保護の状況【複数回答：割合はnに占める各回答の割合

女性 n=53,250 店 子ども n=52,482 店 高齢者 n=53,713 店】

項目	駆け込み・保護を行った店舗	回数	駆け込み・保護を行った店舗の構成比
女性の駆け込み	3,627 店	4,780 回以上	6.8 %
子どもの駆け込み	2,628 店	3,643 回以上	5.0 %
高齢者の保護	9,555 店	16,862 回以上	17.8 %

### ② 駆け込み対応・保護を行った時間帯

【女性 n=3,483 店 子ども n=2,485 店 高齢者 n=8,684 店】



### ③ 女性の駆け込み理由【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=3,574 店】

項目	ストーカー (つきまとい)	知らない人から声をかけられた	暴力 (DV含む)	急病・ケガ	痴漢	事故	その他
店舗数	1,622 店	842 店	684 店	332 店	208 店	104 店	490 店
割合	45.4 %	23.6 %	19.1 %	9.3 %	5.8 %	2.9 %	13.7 %

### ④ 駆け込んできた女性への対応【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=3,537 店】

項目	110番通報	売場・事務所で保護	家族・知人などに連絡	119番通報	自宅まで送った	その他
店舗数	2,462 店	1,379 店	312 店	170 店	150 店	137 店
割合	69.6 %	39.0 %	8.8 %	4.8 %	4.2 %	3.9 %

⑤ 子どもの駆け込み理由【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=2,591 店】

項 目	道に迷った	家族や友達と はぐれた	知らない人から 声をかけられた	家 出	急病・ケガ
店 舗 数	726 店	507 店	431 店	388 店	246 店
割 合	28.0 %	19.6 %	16.6 %	15.0 %	9.5 %

項 目	暴力（家庭内 暴力含む）	痴漢 （いたづら）	事 故	その他
店 舗 数	134 店	59 店	39 店	508 店
割 合	5.2 %	2.3 %	1.5 %	19.6 %

⑥ 駆け込んできた子どもへの対応【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=2,508 店】

項 目	110 番 通報	売場・ 事務所で 保護	家族・知人 などに 連絡	自宅まで 送った	児童相談 所などに 連絡	119 番 通報	その他
店 舗 数	1,394 店	734 店	663 店	218 店	85 店	55 店	195 店
割 合	55.6 %	29.3 %	26.4 %	8.7 %	3.4 %	2.2 %	7.8 %

⑦ 高齢者の保護理由【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=9,455 店】

項 目	徘徊	徘徊以外の認知症が 疑われる行動	急病・ケガ	道に迷った
店 舗 数	4,279 店	3,823 店	2,311 店	1,835 店
割 合	45.3 %	40.4 %	24.4 %	19.4 %

項 目	事 故	家族や知人と はぐれた	暴 力 （家庭内暴力含む）	その他
店 舗 数	246 店	194 店	42 店	428 店
割 合	2.6 %	2.1 %	0.4 %	4.5 %

⑧ 保護した高齢者への対応【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=9,265 店】

項 目	110 番 通報	売場・ 事務所で 保護	119 番 通報	家族・知人 などに 連絡	自宅まで 送った	地域包括支 援センター などに連絡	その他
店 舗 数	7,023 店	1,751 店	1,480 店	1,366 店	528 店	497 店	292 店
割 合	75.8 %	18.9 %	16.0 %	14.7 %	5.7 %	5.4 %	3.2 %

## (6) 特殊詐欺未然防止対応の状況と警察による巡回指導の状況

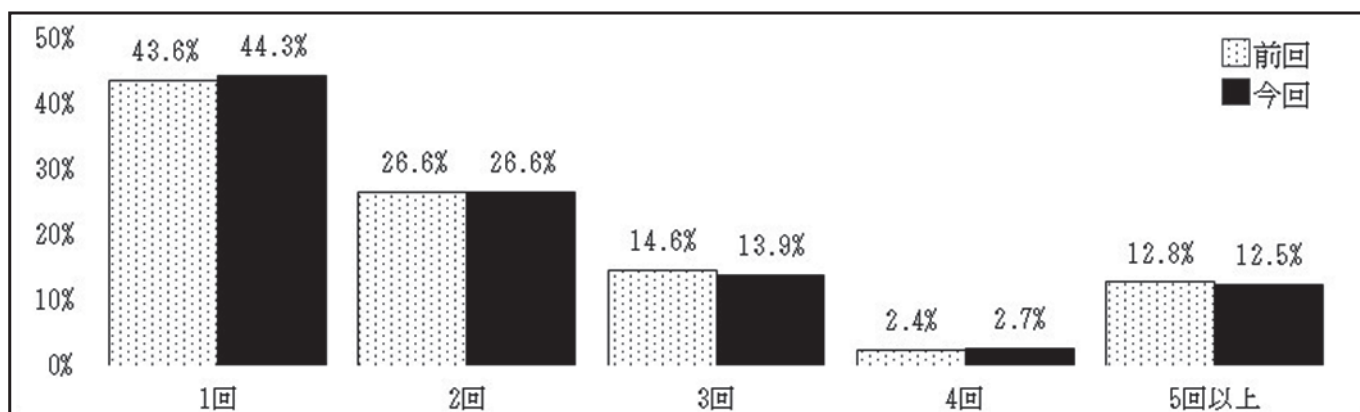
### ① 特殊詐欺を未然に防止した店舗【n=54,876 店】

項目	防止した	防止出来なかった	防止する機会がなかった
店舗数	15,382 店	20,360 店	19,134 店
構成比 (100%)	28.0%	37.1%	34.9%

### ② 防止した店舗数の過去5年推移

年数	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
店舗数	13,959 店	14,879 店	17,770 店	17,109 店	15,382 店
構成比	25.0%	27.0%	32.5%	30.9%	28.0%

### ③ 防止した回数【n=9,558 店】



項目	1回	2回	3回	4回	5回以上
店舗数	4,235 店	2,544 店	1,329 店	258 店	1,192 店
構成比 (100%)	44.3%	26.6%	13.9%	2.7%	12.5%
前回結果	7,251 店	4,413 店	2,425 店	392 店	2,135 店
構成比 (100%)	43.6%	26.6%	14.6%	2.4%	12.8%

※2025年特殊詐欺未然防止回数：20,302回以上（昨年防止回数：35,595回以上）

④ 未然に防止することができた（声をかけた）理由

【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=15,210店】

項目	高額な電子マネー（プリペイドカードなど）の購入を不審に感じた	電話をしながらのATM利用を不審に感じた	「高額・端末・プリペイドカード」のフレーズ※に該当した	高額なインターネット決済を不審に感じた
店舗数	13,684店	1,716店	1,715店	1,358店
割合	90.0%	11.3%	11.3%	8.9%

項目	「シルバー・携帯・ATM」のフレーズ※に該当した	「現金を宅配便などで送りたい」旨を言われた	その他
店舗数	818店	129店	467店
割合	5.4%	0.8%	3.1%

※SS活動通信などで注意喚起していたフレーズ

JFAが発行している『SS活動通信』で啓発を実施。

【2025年2月号】

【2025年6月号】

**SS活動通信 2月号**

声かけしましょう！「特殊詐欺」  
シルバー・携帯・ATM

110

行動のポイント

声かけて不審に思ったら処理を中止し警察へ相談しましょう  
※未然防止できた場合も必ず警察へ連絡！（110番又は警察相談専用電話#9110）

＜声かけの具体例＞

- ◆高額な電子マネー（プリペイドカードなど）を購入されるお客さまへ
  - ・「パソコンがウイルスに感染し修理が必要」等の請求ではないですか？
  - ・「当選おめでとうございます」等の電話やメールに連絡をされましたか？
  - ・支払わないと裁判（法的手続き）になると言われていませんか？
  - ・複数のコンビニで買うようにと言われていませんか？
- ※お客さまに「詐欺の可能性ある」とは伝えず「具合的な事例」を伝えることで詐欺被害を未然に防止している例が多数あります。

【重要】SS活動通信では「POSAカード」表記を登録商標の関係で今後「プリペイドカード」表記で統一

- ◆マルチメディア端末機をご利用のお客さまの様子を確認！  
以下のような様子が見受けられたら、声かけしましょう。
  - ・高額なプリペイドカードの購入や繰り返しの購入
  - ・携帯電話で話しながらの端末の操作やプリペイドカードの購入
- ◆携帯電話で通話しながらATMの操作をしているお客さまへ
  - ・医療費や税金の還付があるとされていますか？
- ※同時に不審なクレーム電話が掛かってくる場合もあるので注意が必要です。

【SS Topics】SS活動好事例表彰「SS総選挙」実施のお知らせ

- ◆2024年下期SS活動好事例表彰「最優秀店舗」決定投票を実施いたします。
- SS広場にアクセスの上、投票をお願いいたします。 下記QRコードからアクセス！
- 【対象店舗】2024年7月～12月表彰店舗で予備審査を通過した店舗  
（投票期間）2025年2月3日（月）～2月28日（金）
- ◆SS活動の好事例がございましたら、積極的に担当の経営指導員へお知らせください。

一環話したらサインしましょう  
発行：2025年1月

**SS活動通信 6月号**

声かけしましょう！「特殊詐欺」  
高額・メディア端末・プリペイドカード

110

行動のポイント

声かけて不審に思ったら処理を中止し警察へ相談しましょう  
※未然防止できた場合も必ず警察へ連絡！（110番又は警察相談専用電話#9110）

- ◆高額な電子マネー（プリペイドカードなど）を購入されるお客さまへ
  - ・「パソコンがウイルスに感染し修理が必要」等の請求ではないですか？
  - ・「当選おめでとうございます」等と電話やメールで連絡が来ましたか？
  - ・「支払わないと裁判（法的手続き）になる」と言われていませんか？
- ※お客さまに「詐欺の可能性ある」とは伝えず「具合的な事例」を伝えることで詐欺被害を未然に防止している例が多数あります。

- ◆メディア端末機をご利用のお客さまの様子を確認！
  - ・高額なプリペイドカードの購入や繰り返しの購入
  - ・携帯電話で話しながらの端末の操作やプリペイドカードの購入
- ◆携帯電話で通話しながらATMの操作をしているお客さまへ
  - ・医療費や税金の還付があるとされていますか？
- ※同時に不審なクレーム電話が掛かってくる場合もあるので注意が必要です。

お客さまから「プリペイドカード」や「支払い方法」がわからないなどご質問いただいた際は特に注意が必要です

【SS Topics】防犯（特殊詐欺）対策への取組み状況

現在、チェーンの垣根を超えた合同防犯訓練を実施しており、防犯体制の強化や特殊詐欺未然防止などに取組んでいます。今回のSSアンケートでは、17,109店舗で「特殊詐欺を未然に防いだ」と回答がありました。そのうち、「高額な電子マネー（プリペイドカードなど）の購入を不審に感じた」と回答したのは15,180店舗ありました。高額プリペイドカードの販売は特に注意が必要です。

一環話したらサインしましょう  
発行：2025年5月

⑤ 特殊詐欺被害防止について警察から巡回指導などを受けた店舗【n=55,441 店】

項目	受けたことがある	受けたことがない
店舗数	35,247 店	20,194 店
構成比 (100%)	63.6%	36.4%

⑥ 警察から指導を受けた内容

【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=34,680 店】

項目	ポスター・ステッカーなどの掲示	お客さま向け声かけシートの活用	プリペイドカード購入者用封筒の活用	従業員向け防止マニュアルの活用
店舗数	20,543 店	17,731 店	6,507 店	5,561 店
割合	59.2%	51.1%	18.8%	16.0%

項目	防止事例の共有	防止時の全件通報	啓発用動画参照	その他
店舗数	2,934 店	1,193 店	768 店	686 店
割合	8.5%	3.4%	2.2%	2.0%

⑦ 特殊詐欺防止のために取組んだ内容

【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=54,395 店】

項目	高額な電子マネー（プリペイドカードなど）の購入時には声をかけている	日頃から従業員に注意喚起している	警察などから提供された声かけシートなどを活用している	電話をしながらのATM利用時には声をかけている
店舗数	37,078 店	16,203 店	8,229 店	5,916 店
割合	68.2%	29.8%	15.1%	10.9%

項目	SS活動通信を活用している	その他の取組みをしている	特に取組みをしていない
店舗数	4,136 店	646 店	5,907 店
割合	7.6%	1.2%	10.9%

## 青少年環境の健全化への取組み

### (1) 青少年健全育成条例の理解状況

① 各自治体で制定されている青少年健全育成条例などを理解している【n=56,268 店】

項 目	理解している	理解していない
店 舗 数	38,231 店	18,037 店
構 成 比 ( 1 0 0 % )	67.9 %	32.1 %

### (2) 青少年に対する帰宅促しとトラブル発生状況

① 条例の有無に関わらず深夜時間帯に帰宅促しを実施している店舗【n=56,270 店】

項 目	実施した	実施しなかった	実施する機会が なかった
店 舗 数	20,630 店	7,232 店	28,408 店
構 成 比 ( 1 0 0 % )	36.7 %	12.8 %	50.5 %

② 帰宅促しを行った際のトラブルの有無【n=20,242 店】

項 目	トラブルあり	トラブルなし
店 舗 数	2,539 店	17,703 店
構 成 比 ( 1 0 0 % )	12.5 %	87.5 %

③ トラブルの発生回数【n=1,959 店】

項 目	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回以上
店 舗 数	474 店	467 店	300 店	49 店	669 店
構 成 比 ( 1 0 0 % )	24.2 %	23.8 %	15.3 %	2.5 %	34.2 %

※トラブルの発生回数：5,849 回以上

④ トラブルの内容【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=2,520 店】

項 目	素直に 応じず 文句を言う	店頭や 駐車場を 汚したまま で帰宅	故意に 大きな声で 恫喝をする	レジなどの 器物損壊	人身に 対する 暴行	その他
店 舗 数	2,048 店	1,357 店	867 店	86 店	75 店	158 店
割 合	81.3 %	53.8 %	34.4 %	3.4 %	3.0 %	6.3 %

### (3) 酒類・たばこ販売時の年齢確認実施におけるトラブル発生状況

#### ① 年齢確認実施におけるトラブルの有無【n=52,808 店】

項目	トラブルあり	トラブルなし
店舗数	10,781 店	42,027 店
構成比 (100%)	20.4%	79.6%

#### ② トラブルの発生回数【n=8,730 店】

項目	5回以下	6回～10回	11回～30回	31回～50回	51回以上
店舗数	5,434 店	1,774 店	910 店	202 店	410 店
構成比 (100%)	62.3%	20.3%	10.4%	2.3%	4.7%

※トラブルの発生回数：53,260 回以上

#### ③ トラブルになったお客さまの年齢

【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=10,653 店】

項目	20歳未満	20～30歳	31～49歳	50～69歳	70歳以上
店舗数	6,844 店	2,945 店	905 店	2,988 店	1,946 店
割合	64.2%	27.6%	8.5%	28.0%	18.3%

#### ④ トラブルの内容【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=10,588 店】

項目	素直に応じず文句を言う	故意に大きな声で恫喝をする	レジなどの器物損壊	人身に対する暴行	その他
店舗数	9,255 店	4,049 店	510 店	93 店	485 店
割合	87.4%	38.2%	4.8%	0.9%	4.6%

#### ⑤ 年齢確認に対する要望

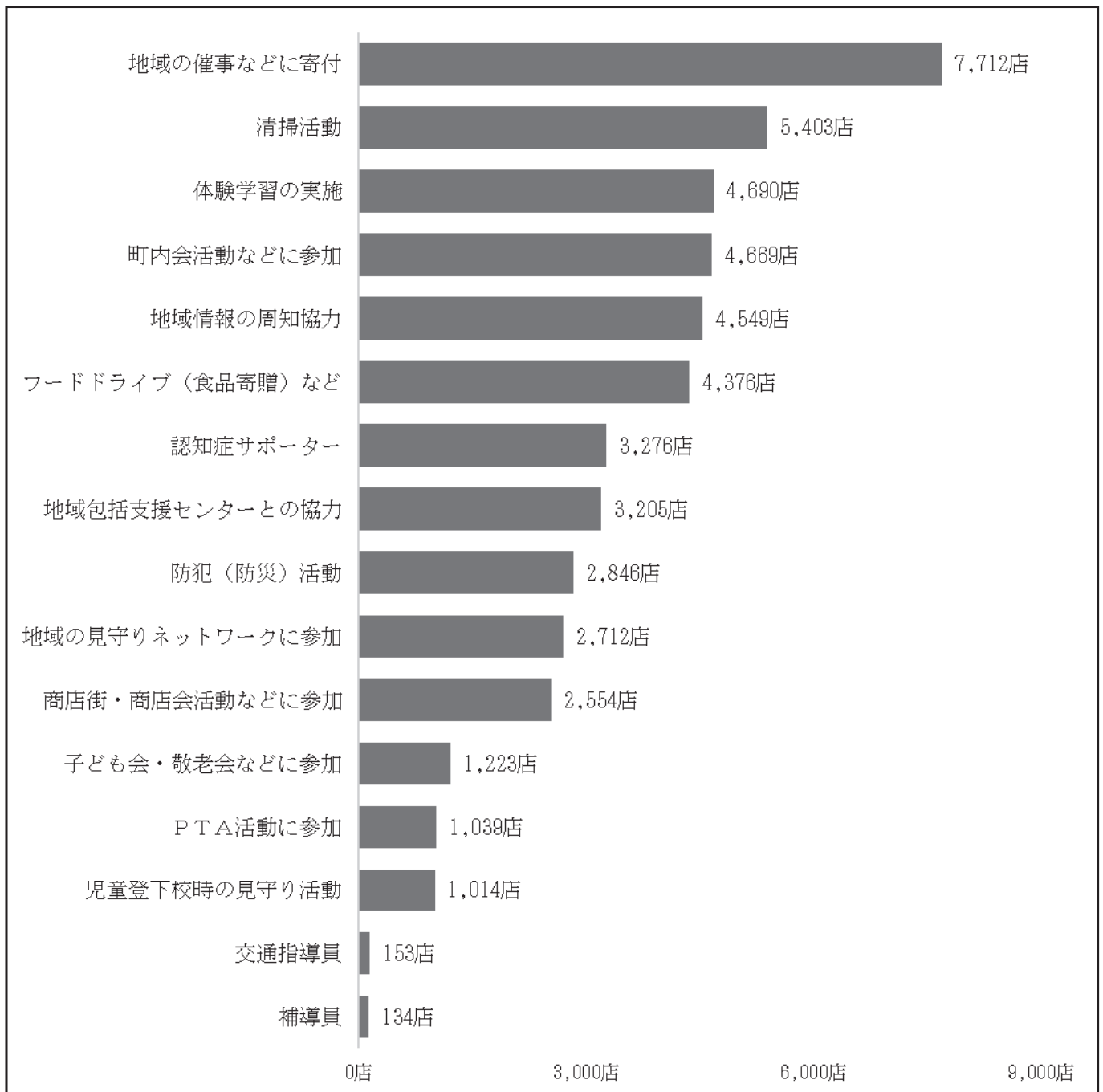
【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=52,489 店】

項目	購入者が身分証明書を提示するなどの条例での制度化	現行の法制度（販売者の年齢確認義務）の周知活動	学校・PTAなどで健康被害、飲酒・喫煙防止教育を徹底	店舗責任者向けの講習会などの開催
店舗数	35,940 店	22,824 店	11,457 店	1,587 店
割合	68.5%	43.5%	21.8%	3.0%

## 地域との交流

### (1) 地域との交流を深めるために実施している活動や協力など

① 地域との交流を深めるために実施している活動や協力【複数回答 n=42,811 店】



## その他（カスタマーハラスメント関連）

### （１）カスタマーハラスメントの有無や内容

#### ① カスタマーハラスメントと感じた言動の有無【n=56,279 店】

項目	カスタマーハラスメントと感じる場面があった	カスタマーハラスメントと感じる場面はなかった
店舗数	29,621 店	26,658 店
構成比 (100%)	52.6%	47.4%

#### ② カスタマーハラスメントと感じた回数【n=29,314 店】

項目	1回～5回	6回～10回	11回～15回	16回～20回	21回以上
店舗数	17,832 店	5,761 店	1,809 店	539 店	3,373 店
構成比 (100%)	60.8%	19.7%	6.2%	1.8%	11.5%

※カスタマーハラスメントと感じた回数：151,754 回以上

#### ③ カスタマーハラスメントと感じた言動

【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=29,555 店】


項目	暴言・罵声	何度も同じ指摘・要求	威嚇・脅迫	長時間拘束	セクハラ的言動	撮影行為
店舗数	25,705 店	11,852 店	8,841 店	6,693 店	4,075 店	2,176 店
割合	87.0%	40.1%	29.9%	22.6%	13.8%	7.4%

項目	SNS などへの誹謗中傷	金品の要求	器物損壊	土下座の強要	暴力行為	その他
店舗数	1,731 店	1,369 店	1,157 店	686 店	673 店	1,220 店
割合	5.9%	4.6%	3.9%	2.3%	2.3%	4.1%



コンビニエンスストア各社の店頭などで、  
JFAが作成した「カスタマーハラスメント  
防止ポスター」にて啓発を実施。

## 【セーフティステーション（ＳＳ）活動のあゆみ】

2003年 3月	<p><b><u>ＳＳ活動「第1次トライアル（期間：3月～5月）」を実施</u></b></p> <p>*2000年に警察庁より活動要請を受け、（一社）日本フランチャイズチェーン協会（ＪＦＡ）内に実行委員会を設置。行政機関からもご協力をいただき、活動内容などの協議を行う。</p> <p>*第1次トライアルとして、神奈川県（川崎市）・佐賀県にて試験的にＳＳ活動を実施。</p>	
10月	<p><b><u>ＳＳ活動アンケートを開始</u></b></p> <p>*ＪＦＡ加盟コンビニエンスストアの店舗を対象に実施。集計結果は「ＳＳ活動レポート」としてまとめ、行政機関などへ報告。</p>	
11月	<p><b><u>ＳＳ活動「第2次トライアル（期間：11月～翌年1月）」を実施</u></b></p> <p>*第2次トライアルとして、神奈川県（川崎市）・佐賀県に加え、東京都の一部・神奈川県（横浜市）・福岡県にて試験的にＳＳ活動を実施。</p>	
2004年 7月	<p><b><u>ＳＳ活動「第3次トライアル（期間：7月～9月）」を実施</u></b></p> <p>*第3次トライアルとして、第1次・2次の成果を踏まえ、実施地域を拡大。北海道の一部・東京都全域・神奈川県（川崎市・横浜市）・岐阜県・静岡県・愛知県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・福岡県・佐賀県にて試験的にＳＳ活動を実施。</p>	
7月	<p><b><u>成人向け雑誌の中央1ヵ所シール止め実施、および自主ガイドラインを策定</u></b></p> <p>*その後、2005年10月に横面2ヵ所シール止めに変更し、現在に至る。</p>	
2005年 6月	<p><b><u>セーフティステーション・シンボルマーク「エスゾウくん」が誕生</u></b></p> <p>*エスゾウくんは大きな耳でまちの声を拾い、大きな身体でお客さまをお受けする気持ちを表している。</p>	
10月	<p><b><u>各地域にて本格活動を順次開始し、10月1日に全国展開</u></b></p> <p>*10月1日に活動発足式を東京都にて開催。定員を超える参加者があり、加盟店オーナーをはじめとする関係者の中でＳＳ活動への意気込みの高さを内外に示した。</p> <p>*内閣総理大臣より、コンビニエンスストアによる防犯・防災活動や青少年の健全育成の取組みが全国展開されることを祝し、その意義を高く評価するとともに、政府としても強力に支援していく旨のメッセージが寄せられた。</p>	
2006年 1月	<p><b><u>店舗でのＳＳ活動の好事例表彰を開始</u></b></p> <p>*「安全・安心なまちづくりに協力」、「青少年環境の健全化への取組み」などに関して、他店舗の模範となるような取組みを行った店舗を各社より推薦いただき、ＳＳ活動推進委員会において審査のうえ表彰。</p> <p>*2025年12月までに約9,600店舗を表彰。</p>	
5月	<p><b><u>ＪＦＡのホームページ内に『ＳＳ広場』を開設</u></b></p> <p>*ＳＳ活動の認知向上を図るため、各種活動や好事例の紹介を掲載。</p>	
7月	<p><b><u>ＳＳ活動報告会を初開催</u></b></p> <p>*関係機関の皆さまへの活動状況の報告と、店舗と本部の相互がＳＳ活動の意義を共有・再確認し、店舗でのさらなる定着・推進に繋げていくため、ＳＳ活動報告会を福島県にて開催。</p> <p>*その後、2025年度時点で、42都道府県にて計58回開催。</p>	
2008年 3月	<p><b><u>ＳＳ活動通信の配布を開始</u></b></p> <p>*防犯対策、青少年健全育成、20歳未満者飲酒・喫煙防止対策など、月ごとにテーマを設定し、全店舗へ情報を発信。</p>	

2011年 11月	<p><b><u>SS活動意見交換会を初開催</u></b></p> <p>* 行政機関・警察本部と各コンビニエンスストア本部の地区責任者との間で情報交換などを実施するため、コンビニエンスストアと警察本部、自治体との3者による意見交換会を宮崎県にて開催。</p> <p>* その後、2025年度時点で、30道府県にて計32回開催。</p>
2013年 5月	<p><b><u>酒類・たばこ20歳未満者販売防止に関する講習会を初開催</u></b></p> <p>* 20歳未満者への酒類・たばこ販売防止の強化を図るため、加盟店および本部社員向けに、財務局や警察本部などのご担当者さまから関連講義を行っていただく講習会を宮城県にて開催。</p> <p>* その後、2025年度時点で、9都府県にて計12回開催。</p>
2015年 10月	<p><b><u>SS活動報告会 10周年記念大会を開催</u></b></p> <p>* SS活動が10周年を迎えるにあたり、関係機関の皆さまへの活動状況の報告と、加盟店の皆さまへのさらなる啓発を図るため、東京都にて開催。SS活動を10年間推進してきたことに対して、警察庁から感謝状が贈られた。</p>
2016年 11月	<p><b><u>認知症サポーター養成講座を初開催</u></b></p> <p>* 高齢者支援の取組み強化として、地域包括支援センターなどと連携し、コンビニエンスストア業務の実態に則した講座内容に変更のうえ、加盟店の皆さま向けに愛知県にて開催。</p> <p>* その後、2025年度時点で、6地域にて計10回開催。</p>
2017年 9月	<p><b><u>SS活動最優秀店舗の表彰を開始</u></b></p> <p>* 年2回、「SS活動好事例表彰店舗」のうち、各社のSS活動推進委員から推薦された店舗について「SS広場」で投票を実施し、最も投票数の多かったSS活動好事例表彰店舗を「最優秀店舗」として表彰。</p> <p>* 2024年度より最優秀店舗を除く推薦店舗の中から、「委員会特別賞」をSS活動推進委員会において選定し表彰。</p>
2018年 6月	<p><b><u>コンビニサポートポリス制度が始動</u></b></p> <p>* SS活動アンケートの結果から、「制服警察官の定期的な立ち寄り」を強く望む加盟店の声を踏まえ、警察に対して店舗巡回強化を継続して要請。その結果、島根県松江警察署においてコンビニエンスストアにおける強盗や万引き防止、特殊詐欺被害の未然防止など、地域安全対策の強化を目的として、管内全ての店舗に担当警察官を任命し、昼夜を問わず店舗への定期巡回と防犯指導を行う「コンビニサポートポリス」を開始。以後、発足地域が順次拡大。</p>
2024年 9月	<p><b><u>コンビニサポートポリス制度の発足地域が拡大</u></b></p> <p>* 警察に対して店舗巡回強化の要請を継続した結果、警察庁から各都道府県警察本部に対し「コンビニエンスストアとの連携強化による地域防犯力向上のための取組みの推進（サポートポリス制度の推進、SS活動の支援）」に関する通達が発出され、発足地域がさらに拡大。</p> <p>* 2025年12月末時点で、40都道府県 403警察署にて発足済（JFA調べ）。</p>
2025年 10月	<p><b><u>SS活動20周年記念動画を作成</u></b></p> <p>* SS活動が20周年を迎えるにあたり、これまでの活動内容や好事例表彰店舗のインタビューなどをまとめた記念動画を作成。</p> <p>「SS広場」内での公開や、コンビニエンスストア各社の加盟店へ配信。</p>

SS活動20周年  
記念動画はこちら



《資料》 チェーン別・都道府県別SS活動実施店舗数

2025年12月末現在

企業名	セブンイレブン・ジャパン	ファミリーマート	ローソン	ミニストップ	山崎製パン株式会社 デイリーヤマザキ	セイコーマート	ポプラ	チェーン合計
ブランドチェーン	セブンイレブン	ファミリーマート	ローソン・スリーエフ ローソンストア100 ナチュラルローソン	ミニストップ	ニューヤマザキデイリーストア ヤマザキデイリーストア	セイコーマート	スリーエイト くらしハウス ポプラ 生活彩家	
北海道	994	242	732			1,086		3,054
東北	青森県	114	172	279	25	11		601
	岩手県	163	179	181	8	18		549
	宮城県	443	310	262	96	28		1,139
	秋田県	123	121	181		13		438
	山形県	186	125	105		6		422
	福島県	457	171	168	67	15		878
関東	茨城県	648	319	213	91	29	92	1,397
	栃木県	478	212	197	26	15		928
	群馬県	486	107	234	39	20		886
	埼玉県	1,270	750	683	124	58	9	2,907
	千葉県	1,188	628	590	159	111		2,698
	東京都	2,927	2,338	1,636	218	116		7,275
中部・北陸	神奈川県	1,531	969	1,067	104	72	15	3,758
	新潟県	428	162	226		49		865
	富山県	138	147	171		8		464
	石川県	140	237	105		8		490
	福井県	72	143	109	7			331
	山梨県	207	79	134		26		446
	長野県	448	257	172		32		909
	岐阜県	192	338	174	76	45		825
	静岡県	763	481	279	118	27		1,668
	愛知県	1,060	1,561	705	173	65		3,564
関西	三重県	178	393	140	79	7		797
	滋賀県	223	150	148	5	3	3	532
	京都府	354	323	324	31	30	3	1,065
	大阪府	1,311	1,321	1,193	83	108	12	4,028
	兵庫県	693	501	698	40	50	8	1,990
	奈良県	137	146	139	10	17		449
中国	和歌山県	86	105	156		18		365
	鳥取県	62	64	135			1	262
	島根県	73	59	137			7	276
	岡山県	325	222	248		12	20	827
	広島県	602	243	312		27	73	1,257
	山口県	321	82	134		8	2	547
四国	徳島県	83	78	134	17	3		315
	香川県	122	113	132	28	12		407
	愛媛県	136	205	209	7	5	2	564
	高知県	51	96	137				284
	福岡県	1,069	526	535	113	61	31	2,335
九州	佐賀県	193	76	79	12	10	6	376
	長崎県	207	153	130		43		533
	熊本県	384	193	169		52	9	807
	大分県	190	116	203	5	12		526
	宮崎県	208	132	111		1		452
	鹿児島県	217	255	203				675
沖縄県	202	331	267				800	
合計店舗数	21,883	15,931	14,676	1,761	1,251	1,187	272	56,961
出店地域数	47	47	47	27	40	3	18	

この件に関するお問い合わせ



一般社団法人

日本フランチャイズチェーン協会

事務局: 満留・工藤・田中

TEL: 03-5777-8701 FAX: 03-5777-8711

セーフティステーション活動ホームページ

URL : <https://ss.jfa-fc.or.jp>

QRコードからのアクセスはこちら→

